

## 2022年度「市民防災・減災活動公募助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人石川バリアフリーツアーセンター  
代表者・役職名 氏名 理事長 坂井さゆり

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

災害弱者に対する避難対応「逃げるバリアフリー」を学ぶ

### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2013年6月設立 何らかのバリアを持つ人達が「行ける場所」ではなく「行きたい場所」を自由に選ぶことができるよう様々なアプローチで実現を目指す。そのため、到着から帰路につくまでの一連行動にどのようなバリアがあるかを調査・実証をもとにした情報発信及びモニターツアーの造成。ハードとソフトの両面から伝えるバリアフリーのセミナーや勉強会の実施。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

非常時の避難に配慮を要する高齢者・障がい者・乳幼児等の「要配慮者」。特に災害時の避難に支援を要する者「避難行動要支援者」の移動は容易な事ではなく、救助者の避難の遅れにもつながる。そのため当事者が避難を諦めたり、善意の人が長時間危険に晒されることを軽減したい。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

在宅・施設利用者は既に介護知識が高いので避難用具等の紹介を主に行い、宿泊業の方には避難行動要支援者への対応策を学んでいただき、非常時のマニュアル作成に役立ててもらおう。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

危機管理体制の確立は知る機会がなければ疎かになりがちであり、今回セミナーに参加したことで、誰しもが災害弱者になり得ることを知り、その対応策を講ずることで、地域・社会の防災意識と安全性の向上へ繋がった。宿泊業の方からは難聴の障がい者への対策法や停電時の救助法など学んだことを直ぐに避難訓練に生かし、備えると回答があった。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

災害はいつ、どこで起きるかわからない。自分が災害弱者になることもあれば、善意の人にもなりうることを広く知ってもらい、そのための対応策や救助法の知識を多くの人を知る機会を作っていきたい。

### 7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、「必ず」、別途、ご提供ください。



# 災害弱者に対する避難対応 「逃げるバリアフリー」を学ぶ

【主催】NPO法人石川バリアフリーツアーセンター

令和4年10月5日 水

14:00~16:30

会場 和倉温泉お祭り会館

参加  
無料



## 高齢者や障がいがある方たちを安全に避難させる 『逃げるバリアフリー（逃げバリ）』を提唱します！

都市空間や交通機関、建物などは障がいのある方を意識したつくり徐々に改善されてきました。建物の入り口の段差は解消され、階段には手すりが付き、トイレも車いすやオストメイト対応のものなどができています。これらのバリアフリー化は、その場所に行き施設を使用したり滞在できるようにする、いわば「入口のバリアフリー」と言えます。

では災害が起きた場合、障がいのある方など、健常者と同じように避難できるのでしょうか？ 私たちは、障がいがある方たちを安全に避難させる『逃げるバリアフリー（逃げバリ）』の整備「出口のバリアフリー」の必要性を提唱をします。講演会では実証実験（避難訓練）や逃げるバリアフリーマニュアルなどこれまでの取り組み事例を踏まえてお伝えします。



【お申込み・お問い合わせ】NPO法人石川バリアフリーツアーセンター

※ お申込みはFAXでお願い致します。裏面をご覧ください。

## プログラム

- 14:00 開会挨拶  
NPO 法人石川バリアフリースターセンター 理事長 坂井 さゆり 氏
- 14:10 講演第1部 テーマ  
「観光庁のバリアフリー関連施策について」  
講師 観光庁観光戦略課 国際観光振興政策企画官 進藤 昭洋 氏
- 14:50 休憩
- 15:00 講演第2部 テーマ  
「逃げるバリアフリー」障害がある人の被害は健常者の2倍  
講師 NPO 法人バリアフリーネットワーク会議 代表理事 親川 修 氏
- 16:00 質疑応答
- 16:30 閉会

観光庁観光戦略課  
国際観光振興政策企画官  
進藤 昭洋 様

観光庁：心のバリアフリー制度  
観光関連事業者のバリアフリー意識の向上推進  
心のバリアフリー認定施設の増加推進  
地域力強化・集客力の向上

NPO 法人  
バリアフリーネットワーク会議  
代表理事 親川 修 様

一般社団法人日本UD観光協会 理事  
しょうがい者・こうれい者観光案内所設立  
(那覇空港・国際通り)  
琉球大学 観光産業科学部 観光科学科 講師  
沖縄県児童デイサービス連絡協議会会長

講演会の前に、実際の施設を活用した逃げバリ体験会を実施いたします。

体験会

場所：未定

参加希望者は下記の申込書に記入ください。

時間：11:00～12:30

FAX(076-255-3526)にて申し込み下さい。↓

## ～ 申 込 書 ～

NPO法人石川バリアフリースターセンター行

TEL・FAX：076-255-3526

企業名・団体名

参加者名 / 役職名

住所

TEL

講演会に 参加する ・ しない 体験会に 参加する ・ しない

※お申し込みは9/30(金)までお願い致します。

# 災害弱者に対する避難対応 「逃げるバリアフリー」を学ぶ

---



NPO法人石川バリアフリーツアーセンター

# 申請活動の概要

---

非常時の避難に配慮を要する高齢者・障がい者・乳幼児等の「要配慮者」、特に災害時の避難に支援を要する者「避難行動要支援者」の移動は容易な事ではなく、救助者の避難の遅れにもつながる。在宅、施設利用者や宿泊施設の当事者及び関係者に避難介助のレクチャーや補助用具の紹介を行い、防災マニュアルの備えとしてもらいたい。



## 地域、社会への効果

---



災害は、いつ「どこで」発生するのかわからない。旅行、出張など自宅以外で被災することも十分考えられる。障害の有無に関係なく、誰もが災害弱者となり得ることを知り、対応策を講ずることで、地域・社会の防災意識と安全性の向上に繋がる。

# 開催概要

---

開催日時 令和4年10月5日(水) 14:00~16:30

開催場所 和倉温泉お祭り会館  
石川県七尾市和倉町2部13番地1

講演講師 第一部  
観光庁観光戦略課国際観光振興政策企画官  
進藤 昭洋 氏

テーマ

「官公庁のバリアフリー関連施策について」

# 開催概要

---

講演講師 第二部

NPO法人バリアフリーネットワーク会議

代表理事 親川 修 氏

テーマ

「逃げるバリアフリー」障害がある人の被害は健常者の2倍



# 募集チラシ / A4カラー両面

表面

【真知苑助成事業】



## 災害弱者に対する避難対応 「逃げるバリアフリー」を学ぶ

【主催】NPO法人石川バリアフリーツアーセンター

令和4年10月5日 水

14:00~16:30

会場 和倉温泉お祭り会館

参加無料

高齢者や障がいがある方たちを安全に避難させる  
『逃げるバリアフリー（逃げバリ）』を提唱します！

都市空間や交通機関、建物などは障がいのある方を意識したつくり徐々に改善されてきました。建物の入り口の段差は解消され、階段には手すり付き、トイレも車いすやオストメイト対応のものなどができています。これらのバリアフリー化は、その場所に行き施設を使用したり滞在できるようにする、いわば「入口のバリアフリー」と言えます。

では災害が起きた場合、障がいのある方など、健常者と同じように避難できるのでしょうか？ 私たちは、障がいがある方たちを安全に避難させる『逃げるバリアフリー（逃げバリ）』の整備「出口のバリアフリー」の必要性を提唱をします。講演会では実証実験（避難訓練）や逃げるバリアフリーマニュアルなどこれまでの取り組み事例を踏まえてお伝えします。

【お申込み・お問い合わせ】NPO法人石川バリアフリーツアーセンター  
※お申込みはFAXでお願い致します。裏面をご覧ください。

裏面

### プログラム

14:00 開会挨拶  
NPO法人石川バリアフリーツアーセンター 理事長 坂井 さゆり 氏

14:10 講演第1部 テーマ  
「観光庁のバリアフリー関連施策について」  
講師 観光庁観光戦略課 国際観光振興政策企画官 進藤 昭洋 氏

14:50 休憩

15:00 講演第2部 テーマ  
「逃げるバリアフリー」障害がある人の被害は健常者の2倍  
講師 NPO法人バリアフリーネットワーク会議 代表理事 親川 修 氏

16:00 質疑応答  
16:30 閉会

観光庁観光戦略課 国際観光振興政策企画官 進藤 昭洋 氏 観光庁：心のバリアフリー制度 観光関連事業者のバリアフリー意識の向上推進 心のバリアフリー認定施設の増加推進 地域力強化・集客力の向上	NPO法人 バリアフリーネットワーク会議 代表理事 親川 修 氏 一般社団法人日本UD観光協会 理事 しょうがい者・こころい者観光案内所設立 （那覇空港・国際通り） 琉球大学 観光産業科学部 観光科学科 講師 沖縄県児童デイサービス連絡協議会会長
--	--

講演会の前に、実際の施設を活用した逃げバリ体験会を実施いたします。

**体験会** 場所：未定 参加希望者は下記の申込書に記入ください。  
時間：11:00~12:30

FAX(076-255-3526)にて申し込み下さい。↓

～ 申込書 ～

NPO法人石川バリアフリーツアーセンター行 TEL・FAX：076-255-3526

企業名・団体名  
参加者名 / 役職名  
住所 TEL

講演会に 参加する ・ しない 体験会に 参加する ・ しない

※お申し込みは9/30（金）までお願い致します。

# 受付

受付前に

感染症対策として除菌・体温検査

(受付配布物)

逃げバリ冊子

石川バリアフリーツアーセンターチラシ

熱中症対策飲料



# 開会挨拶

NPO法人石川バリアフリーツアーセンター

理事長 坂井さゆり

よりご挨拶頂きました。



# 講演会(第1部)

テーマ

「官公庁のバリアフリー関連施策について」

講師

観光庁観光推進課 国際観光進行政策

企画官 進藤 昭洋 様

よりご講演頂きました。





# 講演会(第2部)

テーマ

「『逃げるバリアフリー』障害がある人の被害は  
健全者の2倍」

講師

NPO法人バリアフリーネットワーク会議

代表理事 綾川 修 様

よりご講演頂きました。



# 逃げバリアアイテム キャリダンを使った実演会

来場頂いたお客様に、実際の逃げバリアアイテム「キャリダン」を使って避難活動を行って頂きました。

## 「お客様コメント」

初めて使用しましたが、会場の2階から1階に降りるのに3分程度と安全かつスムーズにできました。とても便利なアイテムです。また思ったより安かったのもびっくりしました。購入検討をしてみます。



# 質疑応答 名刺交換

来場頂いたお客様に、ご質問タイムを設けましたが時間後にも講師と名刺交換し、質問とメモを取る方が多くいらっしゃいました。

「お客様コメント 宿泊施設関係者」

障がい者や高齢者の避難活動は予想以上に大変で、状況によってはシビアな判断があるのだと思いました。できるだけお客様に安心安全を提供できるように、持ち帰って共有したいと思います。





# 逃げバリアアイテム キャリダン

地震・火災などの災害時にエレベータが使えない状況下で、高齢者や障害者など歩行困難者の方を最低 1 名の人員で廊下をすばやく移動、階段を安全に避難させることができます。

非常用階段避難車

キャリダン

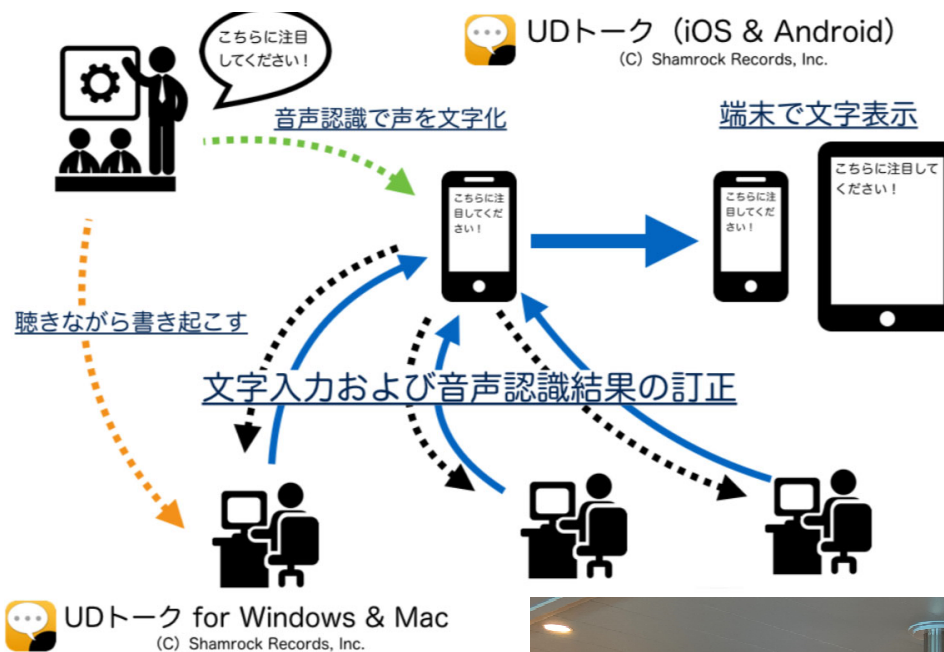
GARRYDUN





# 逃げバリアアイテム UDトークアプリ

UDトーク（ユーディートーク）は、  
難聴／障害者などのバリアフリー  
「UD＝ユニバーサルデザイン」を  
支援するためのコミュニケーション  
支援・会話の見える化・自動翻  
訳アプリです



# 逃げバリアアイテム 逃げバルーン

緊急時や災害時に、いかに高齢者や障害者等も含め避難所が遠くからでも見えるかが重要。地上はもちろんですが屋上などに設置すればさらに遠くからも見えやすく一人で持ち運べる軽量化された屋外使用可能なアイテムです。

